臺灣日日新報

本日四頁

發行所　臺灣日日新報社

東久邇宮盛厚王殿下 照宮樣御結婚御成約

御めでたく納采の御儀

【東京電話】一億民衆が挙げて慶祝し奉る　東久邇宮盛厚王殿下と　照宮成子内親王殿下との御結婚の御儀は近く吉辰を擇ばせられて宮中賢所大前に於て厳かに執行はせられると拜承するが、それに先立ち二日の佳き日晴れて御成約を整へさせ給ふ納采の御儀が、宮中御奥と東久邇宮家との間に御めでたく執り行はせられた、謹み拜承するに　内親王殿下の御縁組は、大正四年盛厚王殿下の御母宮に渡らせられる　聡子内親王殿下の御成婚以来実に二十九年振りの御慶儀にて御両親陛下の御満悦の程は拜し奉るだに畏き極みである、御めでたきこの日二日晴れの納采の御儀は同宮家御登殿が午前七時四十分頃の服装に包まれた御納采の品々を捧じて宮家出門、先づ宮邸に参入した、次いで奥への盛儀に奉仕する御使　東久邇宮附松本幹之助別當は　盛厚王殿下の御旨を體してフロックコートに威儀を正し午前九時四十分宮家を出門、恐懼宮中に参内した、松本別當は北御車寄から御内儀に参進、御殿の間に入り午前十時松平宮相に面し　盛厚王殿下より本日　成子内親王殿下と御結婚の約を成せ給ふため納采を行はせらるべき御旨を言べ御品々を奉れば松平宮相は謹んでこれを受けて御奥に参進

天皇　皇后両陛下に奏上したが、畏くも

天皇　皇后両陛下には殊の外御満悦の御様子に拜された御由にて御嘉納あらせられる旨の御沙汰あらせられ、松平宮相は恐懼御前を退下、再び御殿の間に参入御嘉納あらせられた旨を御使に言ぶれば松本別當はこれを受けて謹みて宮中を退下、麻布市兵衛町の御殿に帰邸した、斯くて松本別當　盛厚王殿下に謹し奉り滞りなく御儀を終へさせられた旨を復命申上げ茲に千代の契りを固めさせ給ふ納采の御儀を終へさせられた、御殿の[illegible]

天皇　皇后両陛下の御使として午後二時麹町三番町の御仮寓所に[illegible]して　照宮殿下に祝賀を述べ参らせ佳き日の大礼を終へさせられた

マライ原住民政治參與

實施要綱を決定公表

【昭南二日發同盟】マライ原住民の政治參與に關しては既て軍政監部に於て策定中のところこの程「マライ原住民政治參與實施要綱」を決定二日午後軍政監部と共に公表された右要項はマライ五百萬住民の下意上通、民意上達を圖り併せて直接政務諸方の機會を與へるもので先づ顧問機關を設置し、次[illegible]擢用する事としてゐる、本要綱に基く具體的措置は各州の手に依り近く決定する運びとなつてゐるが之に依りマライ史上劃期的な原住民政治參與は愈々具現されることになつたわけである

【昭南二日發同盟】マライ原住民の政治參與實施に關し二日軍政監部は左の如き「原住民政治參與實施要綱」を發表した

第一　諮問機關の設置

（一）諮問機關の名稱は「〇〇州參事會」諮問機關組織委員の名稱は「委員」とする

（二）委員は州市長官之を詮衡し軍政監の認可を受けて之を任命する

（四）委員の數は　州市長官　之を定む

[illegible]

（八）參事會に[illegible]委員は之を[illegible]

（九）參事會は[illegible]

第二　原住民官吏の登用

（一）原住民は極力之を官吏に任用す

[illegible]

民意上通、上意下達

八紘一宇の理念顯現

[illegible]

制度化

[illegible]

看板と

[illegible]

州、市に參事會（諮問機關）

原住民官吏積極的登用

[illegible]

才腕を

[illegible]

必勝の國政運營體制

政府の英斷、急速に整備

[illegible]

流言に斷乎處置

根據なき對重慶和平說

【北京三日發同盟】[illegible]

南の決戰愈よ慘烈

緬甸奪回に敵狂奔

陸軍週間戰況

【東京電話】ソロモン、ニューギニア方面の決戰は[illegible]

支那方面

[illegible]

佛印方面

[illegible]

濠洲バンダ海方面

[illegible]

ビルマ方面

[illegible]

敵陣の爆擊活潑化

海軍週間戰況

【東京電話】[illegible]

ソロモン方面

[illegible]

ニューギニア方面

[illegible]

ニューギニヤ島方面

[illegible]

アラフラ海方面

[illegible]

ナウル方面

[illegible]

インド洋方面

[illegible]

潛水艦の活躍

[illegible]

九月中の綜合戰果

[illegible]

獨軍總反攻を開始

ド河の一線　撤收作戰終止符

[illegible]

敵機二千七百五十七機擊墜

獨軍七月以降

【ベルリン二日發同盟】[illegible]

ベルリン爆擊の脅威薄らぐ

【ベルリン二日發同盟】[illegible]

英豪華船セラミック號沈沒

【リスボン二日發同盟】[illegible]

盤谷の印度人民衆大會

【バンコック二日發同盟】[illegible]

獨軍ナポリ撤收

【ベルリン二日發同盟】[illegible]

〝獨逸來襲敵機廿四を擊墜〟

【ベルリン二日發同盟】[illegible]

ビルマ國立銀行

十一月一日創設に決定

【ラングーン三日發同盟】[illegible]

ラウレル氏四日離京

【東京電話】[illegible]

觀迎晩餐會

【東京電話】[illegible]

キンメル、ショートの裁判は延期

【ブエノスアイレス二日發同盟】[illegible]

協會監修　國防機械化　財團法人

國防科學雜誌

機械化

10月號　工兵特輯　價5・4

工兵魂を銘記せよ　河邊陸軍少將
防禦陣地と對戰車障碍　森川陸軍大尉
戰車攻擊　淺川陸軍少佐
坑道戰と爆破作業　内藤陸軍少佐
敵前渡河　小島陸軍大尉
鐵條網の構築と破壞　宮原陸軍少佐
交通作業　吉武陸軍大尉

工兵精神を語る　大河原陸軍大佐
特殊の工兵　小川陸軍少佐
大東亞戰に於ける工兵の活躍　小俣陸軍中尉
トーチカ攻擊　香山陸軍少佐
地雷の敷設と探知　伊藤陸軍少尉
工兵器材と作業　小川陸軍大尉

繪とき

工作　[illegible]の作り方　[illegible]の作り方

短篇小說　墓參　上田廣

理學博士　田崎友吉著　ゴムの科學
理學博士　竹内時男著　戰鬪の物理
阿部余四男著　生存競爭の科學

書店で御買求め下さい
東京・神田　山海堂

決戰下お子樣の教養と錬成に—

十月號發賣
國民學校三・四・五年生の方へ

少國民の友

價四十五錢　送料二錢

内容の一部

☆口繪☆
銃後はぼくらが引きうけた……井口文秀
障害競走……[illegible]
これからの空中戰……小松崎茂
よい子の軍人援護……グラビヤ
戰ふ鐵道輸送……グラビヤ
空ゆく少國民……[illegible]
しのべ戰線……[illegible]
よろこびのビルマ……[illegible]

☆讀物☆
颱風の子……北村小松
宗六の日記帖……林芙美子
佐野竹之介……[illegible]
裸と馬糞……和田傳
死の報告……柴田賢次郎
ビルマの友だち……[illegible]
故郷のにほひ……壺井榮
ゐもん常會……[illegible]
鳴子綱……[illegible]

發行所　東京都神田區[illegible]　小學館

伊藤正德著　世界大海戰史考　トラファルガル海戰・日本海海戰・ジュットランド海戰[illegible]　價（稅込）三・六五

津村秀夫著　映畫政策論　[illegible]　價（稅込）三・九〇

山口和雄著　幕末貿易史　德川末期の對外貿易狀態を[illegible]　價（稅込）四・一八

ファレル著　村山淳太郎譯　シカゴの少年群　アメリカ近代都市に宿命的な不良少年群をテーマとせる小說[illegible]　價（稅込）二・八〇

井出季和太著　南方華僑論　[illegible]　價（稅込）一・二〇

[illegible]著　信長・秀吉・家康　[illegible]　價（稅込）一・八〇

杉森孝次郎著　世界政治學の必然　[illegible]　價（稅込）一・六〇

中央公論社

好評の良書

三省堂刊

蒙古の歐洲遠征　岩村忍著　價一・四〇　[illegible]

蒙疆の旅　飯山達雄著　價八・〇〇　[illegible]

東南アジヤ文化圈史　舟越康壽著　價三・〇七　大東亞共榮圈と不可缺の關連を有する、東南アジヤの現實的、歷史的性格を[illegible]

決戰科學陣に一翼

臺北帝大工學部開講

南方工業の本部新發足

待望の臺北帝大工學部は一日華々しく誕生した。決戰下戰力增强の一路に[illegible]の國力が[illegible]されつゝある時、わが科學陣もまたこそ[illegible]に邁進な一翼となつて臨戰態勢を立ち上ることを強く[illegible]されたのだ、より[illegible]な飛行機を、また艦船を、或は船舶をどしどしと作り上げて前線に送り出さねばならない、まして近代戰は科學戰であり勝利の鍵は科學技術の飛躍的進歩發達にかかつてゐるのだ、我々は民力戰に勝ち拔くと同時に最高度の科學戰に[illegible]せねばならない、さればこそ政府では[illegible]科學研究の[illegible]方策を[illegible]、また法文[illegible]大學の教育を停止し理工[illegible]研究所增設の[illegible]をしたなど非常措置に出たのも[illegible]今次大戰が今々科學[illegible]技術を伴ひつゝある[illegible]の[illegible]を總動員し"研究[illegible]"の精神を以て[illegible]科學戰を勝ち拔かんがためである、この意味に於いてわが臺大に工學部が發足したことは[illegible]なものがある、そもそも臺大工學部の誕生は單に[illegible]でなく目的は[illegible]にして[illegible]なる[illegible]の一歩と見るべきである、臺大工學部の使命の一つは實に[illegible]南方[illegible]を開發し大東亞共榮圏の花を咲かせるにあるのだ、今回設置は機械工學、電氣工學、應用化學、土木工學の四科ではあるが行く行くは航空工學、造船工學、鑛山冶金學をも加へ大工學研究所に[illegible]せる南方工學の本部たらしめようとの試みだといふ、ここに臺大工學部への[illegible]があり、これに對する國家の期待は[illegible]大きいのである、本紙は工學部の[illegible]發足に當り本特輯を[illegible]全島民にわが臺大工學部の認識を深めることとした

科學報國に邁進

臺北帝大總長 安藤正次

臺北帝國大學工學部が、いよいよ本年十月より開講される運びとなりましたことは邦家のため、まことに御同慶の至りであります、顧みればわれわれといたしましては、この工學部の新設によつて、わが大學は漸く綜合大學の體面を具へるに至つたのでありますから、その點について、人倫の然らしむるところ、おのづから欣快とする所はさるものがありますが、さういふことは、私情に過ぎないのでありまして、これを、工學部は多大の寄與をなすべき任務、臺灣工業の發達に要せられる能力の源泉として、かねて各方面からの期待をうけて居りました工學部の創設がここに實現されて、國家社會の要請に副ふべくその第一歩を踏み出すに至つたことについての大きなよろこびに比べますれば、それはまことにささやかなものであります、しかしながら、現に、乏しきを諸員に承けて居りますわたくしは、この大きなるよろこびの下、またはじめて重大なる責任を感ぜざるを得ないのであります、工學部の使命、特に南方の大學としての本學の工學部の使命がいかなるものであるかについては、安藤工學部長が別に申述べられることと存じますが、その本來の使命の上からみましても、また從來の各方面からの期待に副ひましても、われわれは、この新しい學部の完成について全力を盡し、十分に實績を擧げるに努めなければならないのであります、翔ひに工學部長には安藤一雄博士を迎へることを得ました、同博士は斯道堪能の士であります、新に御迎へを得ました教官諸氏もまたいづれも斯界における適材適所であり、然も臺灣に勤し國に報ずる熱意に燃えてゐる人々であります、この陣容の整備によつて、工學部が、よくその職責を盡くし、健全なる發達を遂ぐるに至らんことは、わたくしの信じて疑はざるところであります、今や、國家は、科學の戰時研究力の集中強化を要請すること頗る急であります、新たに發足する工學部においてもまた、この要請に副する覺悟をもつことは申すまでもありません

工學部の施設が速やかなる進歩を見るに至りましたのは、總督府當局の厚意なる配慮と施設關係官の盡力とに負ふところの多大であることはもとよりでありますが、ただ特にわたくしは、ここに、本計畫が前總長三田定則博士の時代に成つたものであり、これが今日あるに至りましたことは實に同博士の努力の致すところであることを申上げておきたいのであります、わたくしの如きは、唯にその遺された計畫を守つて來たに過ぎないのであります

講座內容

新設工學部には機械工學、電氣工學、應用化學、土木工學の四學科が設けられ、講座數は三十二講座であるが十八年度開講になるのは十六講座のみでその講座構成左の通り

○印は十八年度、△印は十九年度、×印は二十年度に開講のもの

機械工學科
○第一講座 機械設計法、機構學、應用力學
△第二講座 蒸氣原動機
△第三講座 內燃機關
○第四講座 水力學及水力機
○第五講座 機械工作法
×第六講座 冷凍及冷藏法、冷房
化學講座

電氣工學科
○第一講座 電氣理論
△第二講座 電氣通信
○第三講座 電氣機械
△第四講座 電力及其の應用
×第五講座 電氣測定法
○第六講座 高周波、電氣工學

應用化學科
○第一講座 酸アルカリ、工業窯業、肥料、ガス等
×第二講座 硅酸、鹽、工業化學物等(セメント、硝子、陶磁器、耐火物等)
○第三講座 工業電氣化學
△第四講座 炭水化物、醱酵
○第五講座 石油及燃料
○第六講座 脂肪油、芳香油、合成化學工業

土木工學科
○第一講座 コンクリート工學
△第二講座 橋梁
○第三講座 土水及下水
×第四講座 河川、港灣
△第五講座 鐵道、道路
○第六講座 構造力學

尚右の他共通講座として
○材料強弱學 材料及構造強弱學
○工業物理學 工業物理及熱學
○應用數學及力學 應用數學及力學
○工業分析化學 工業分析化學

の四講座が十八年度中に開講せられる筈である△金屬材料學△工業地質學の二講座は二十年度內に開講せられる豫定である

學部長、教授陣

新設工學部初代部長は前九大工學部長安藤一雄博士で、同氏は明治十八年五月香川に生れ、同四十一年東京帝大應用化學科を卒業、四十三年東大、四十四年九大の助教授を經て大正四年九大教授となり、昭和十三年から十六年迄九大工學部長を勤め、英、米、獨の各國に留學する等前後四回に及び、燃料及油脂工業界の權威であ[illegible]

國家の要請に卽應

工學部長工學博士 安藤一雄

今日の本島工業界が工業界の陣容に[illegible]

然れども

[illegible]

國民軍進擊すれば米英軍を挾擊潰滅

ボース統帥烈々の確信

【クアラルンプール十日同盟特派員】インド國民軍總帥チャンドラ・ボース氏は南方圈內のインド人多數居住地帶の一巡を終り今やインド國民軍第二段階たるデリー進軍の壯途を控へてゐるが記者は最近この旅行中であつたボース氏とたまたま昨日、行を共にし氏の使嚴な風貌、英傑にふさはしい態度を知ると共に獨立運動に對する不斷の信念に觸れるを得た

南方各地のインド獨立聯盟支部では、このネータジ(指導者の意味のヒンドスタニー語、ボース氏はかく呼ばれてゐる)の來着を待ち焦がれ、ボース氏を迎へて民衆大會を開き民心の昂揚につとめて來たが、ボース氏にとつては寧日なき旅行は決して樂なる旅行ではない、インド民心昂揚といつた獨立運動への前提工作ではなく、それがそのまま獨立運動の眞の實戰であつた、從つて[illegible]

英米はアジア共同の敵である共同の敵を倒すためには共同の戰線を張つてゐる、友から援助を受けるのはよい、しかしインドの獨立は先づインド人個々である、インド獨立にはインドは最大の犧牲を拂はねばならぬ、自ら最大の努力をなさずして他の援助を期待することは許されない

以上はボース氏がいづれの演說においても必ず強調するところである「インドが今日の如く奴隷の境遇に在るのは一面インド人の過去における怯懦と國內團結の缺如による」とも指摘してゐる、或る集落の收容所では多數のインド人青年と夜遲くまで語り合つたが若人達は今インドへ入らうとしてゐる、しかし若人達は拷問の苦しみに耐へ得る自信があるか最後まで口を割らず苦しみに耐へ祖國の獨立を念じつつ死んで行く覺悟がなくてはならぬ とも言つた、斯うした言葉は、四十六歲の今日までに十一回投獄されてゐる彼の口を衝いて出て初めて權威があると感じられた

一言三百萬弗

これは在住インド人口二千餘のある町での話である、ここのインド人大會は或る政治的な理由から國防獻金の形で行はれたが、その席上多數のインド人代表はインド國民軍への國土獻金として十五萬弗の小切手を持參して來た、これに對して彼は[illegible]

志願兵殺到

ボース氏は從來南方における英勢力の一中心地であつた某地を訪れた[illegible]

女も前線に立て

[illegible]

印度情報綜合發表

[illegible]

臺灣の工業化

期待語る加福均三博士

[illegible]

基地として

[illegible]

國家が

[illegible]

資源を

[illegible]

計畫を

[illegible]

工業化

[illegible]

南方新分野に期待

池田工研所長談

[illegible]

無駄な

[illegible]

變貌する佛印行政

原住民への施設改善

【同盟西貢支社小畑勝一郎】[illegible]

教育工作

[illegible]

學校の增設

[illegible]

待遇の向上

[illegible]

議會の要員に女性を採用

[illegible]

米當局の發表政策を非難

[illegible]

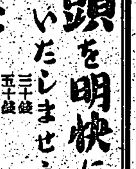
ジャワの斷食

ジャワ回教徒は一日から[illegible]

時局の要請!投資より投資へ!
我社の信念的推獎株
注目せよ!更生株の白眉
「日本曹達」
[illegible]
大一證券株式會社
臺北市京町四ノ一〇
電話三一六一・三六八〇・三一八〇

農業世界 九月號
時を逸する勿れ!! 秋蒔蔬菜(總串)
▼練馬大根の栽培法 ▼山東菜栽培法
▼甘藍の移植栽培法 ▼京菜の栽培法
▼小蕪の栽培法
家庭果樹を語る座談會
瀬工品[illegible]座談會
◎麥の增産と麥蒔の心得
◎省力增收麥作法
積極上から觀た家庭園藝
玉葱採種の要領
東京 日本橋 博文館

外交時報
十月上旬號
新三國會談の開催……
伊太利バドリオ降伏……
伊卅年の努力水泡に……
伊と米英の對蘇謀略……
南方產業の再編……
北邊鎭護と滿洲開拓……
大東亞戰史(三十三)……
ファシスト政權樹立……
伊國無條件降伏……
サレルノ米英軍慘敗……
日獨共同聲明發表……
國際外交半月誌……
外交時報社



ずつうに
サール
頭を明快にいたしませう
三十錠 五十錠 一円
藥店にあり
東京 アルス藥品部

慢性胃腸疾患
良吸收性
ビタミンB₂複合體
100錠 300錠
理研ビタス錠

救心
朝夕一粒
心臟と胸の强化に
・强精動物ホルモン精腎藥・
心臟病・心臟脚氣
肺・肋膜・胃弱や
神經痛手足痛みに
手當法の本進呈
救心本舖

銃後の華・軍人援護

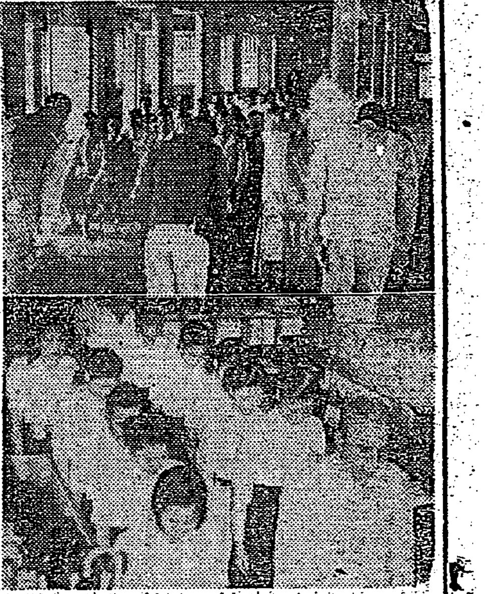
六百五十萬島民總進軍

銃後の華・軍人援護
六百五十萬島民總進軍

三日から軍人援護強化運動―陛下、皇軍の赫々たる大戰果に應へ、[illegible]

傷痍軍人に歌曲獻納

【東京電話】[illegible]



名譽の家弔問

【新竹電話】[illegible]

群る敵兵斬り伏せ
辛くも重圍突破
一年有半の〝血戰〟を聽く（上）

―歸還義勇隊員に―

鬼神も哭く密林の[illegible]

菊池中佐　[illegible]

森田情報課長　[illegible]

寺尾第二中隊長（鈴木[illegible]

杉山隊員　私が志願する時[illegible]

向野隊員　[illegible]

大村隊員　[illegible]

山口隊員　[illegible]

北村隊員　[illegible]

大谷隊員　[illegible]

谷川隊員　[illegible]

寺尾隊長　[illegible]

森田情報課長　[illegible]

出席隊員

寺尾　十郎（二九）第二中隊長（鈴部附）
谷川　　進（[illegible]）臺北州バヌン社
來島　卯八（[illegible]）臺中州ナバガン社
向野　太郎（[illegible]）臺南州ララオ社
山口　　勝（[illegible]）臺東廳タカバラ社
北村　[illegible]夫（[illegible]）新竹州ラモッボナイ社
大谷　[illegible]（[illegible]）高雄州トクブン社
杉山　武男（[illegible]）花蓮港廳ブスリン社
大村　清二郎（[illegible]）同　鳳林街
宇良川　[illegible]（[illegible]）同　瑞穗村

歸還義勇隊員に聽く（寫眞は座談會）

〝軍國の妻、皇國の母〟を讃ふ（一）
育上げた五男二女
敢闘二十餘年　澤谷ミワさん

女手で―

[illegible]

雄々しき[illegible]

銃後　[illegible]

五男二女を[illegible]

簡單　[illegible]

皇國　[illegible]

海軍志願兵訓練所
けふ晴れの開所式
長谷川總督、山縣司令長官臨席

[illegible]

長谷川總督高雄へ
開所式臨席後地方視察

[illegible]

惜しや戰病死
西内元〔illegible〕軍曹

[illegible]

戰歿勇士合同慰靈祭

【新竹電話】[illegible]

歸還義勇隊員
圍み座談會

[illegible]

勇士を招き　[illegible]

軍事知識
陸軍少年飛行兵（上）
軍は何故重視するか

日本では昔から[illegible]

陸軍　[illegible]

體力　[illegible]

全島選拔開球
北工、森園優勝

[illegible]

北一中	0	24	北園
北園	3	8	北工
北工	30	8	北一中

男性神經衰弱

[illegible]

無代進呈

かすが藥莊

今日の映畫

大世界　台劇　新世界　芳乃館　芳明館　國際映畫　萬華劇場　大平館　第三世界

本日休業

日活新劇團

全島合同興行會

中央劇場　萬華世界　旭劇場　大和劇場　羅東座　宜蘭座　昇平座

基隆劇場

東寶國際館　日本ニュース　空を守る少年兵　三代の盃　本日八二同

4日マデ　日ホームグラフ

行旅死亡人公告

新竹市役所

萬媒

石堂　洋裁　產婆　女事　女事　女子　女子　住込　求炊　女中　上女　社員　入學　拓南　賣家

父友橋儀腦貧血ノタメ本日午前九時死去致シ候間此段謹告仕候也
昭和十八年十月三日
男　岩本喜橋
親戚　熊倉松太郎
友人　辻井隆治
同　松田　昇
代表　林　虎三

譲店　南洋　古本　投資　レン　ラジオ　轉宅　引越　引越　引越　引越　結婚　深夜　冷藏　高級　衣類

海南島支店（稼林勤務）
女事務員並タイピスト募集
一、資格
一、申込期日　昭和十八年十月十日迄
三井農林株式會社臺北支店

會社合併公告
臺灣國產自動車株式會社
臺灣日產自動車株式會社

女子技術員募集（認可申請中）
臺灣縱貫ケーブル技術要員非交換手
待遇　條件　手續
國際電氣通信從講習所臺北支所

齒科　平川醫院　平川　波

祖父古山昌雄儀病氣加療中ノ處藥石效ナク二日午後六時永眠致候間生前ノ御厚誼ヲ拜謝シ此段謹告仕候
男　古山　康雄
孫　安田　潤
　　太田　昇
　　竹中　ノ
　　近江　稻ブ
　　和泉　時常
　　福永　種武
　　居川　五郎
友人代表
　　金次　實
　　榮　男

父從七位三觥丸須美人儀兼テ病氣療養中ノ處昨十月三日午後四時四十分死去仕候間生前ノ御厚誼ヲ拜謝シ此段謹告仕候
男　吉幹
男　大生
母　菊美
弟　武人
　　秩道
　　樋津
　　荒幸
親戚代表
　　串本
友人代表

會葬御禮　金和成商行　蔡再興　水元

會葬御禮　十川延吉

米英撃滅に勇名轟く
我が海軍〇〇高砂義勇隊
高雄州隊 感謝歡迎裡に歸還

【高雄電話】米英撃滅の大命を奉じ萬里の波濤を乗り越え勇躍南方[illegible]へ征き[illegible]皇軍将兵に伍して千古[illegible]の密林に[illegible]幾多の[illegible]と[illegible]に耐へつつ[illegible]一年有半に亙り数々の不滅の[illegible]をのこした海軍〇〇高砂義勇隊は[illegible]大任を果してこの程歸還したが[illegible]〇〇名は臺北まで出迎へた[illegible]につれられて三日朝元氣に[illegible]した、この日勇士の歸還を[illegible]って高雄州では午前十時から高雄州隊の[illegible]式を擧行したが[illegible]以下[illegible]の訓示を述べ[illegible]

[illegible]されて嬉しく思ひますが[illegible]から山へ歸へってからも[illegible]で得た[illegible]を活かし諸君の一族[illegible]は同より出來得れば先[illegible]にも前線[illegible]りを聞かせ諸君の胸にひめた大いなる[illegible]を以て[illegible]人残らず立派な國民に仕上げ[illegible]兵の[illegible]には一人でも多く國家の干城を出す時に努力して頂きたい

と[illegible]と[illegible]の言葉を與へれば隊員を代表して[illegible]一郎君は感謝をこめた力強い[illegible]かに式を閉ぢ[illegible]しの茶話會に[illegible]から[illegible]までの[illegible]に花を咲かせ[illegible]血をそそらせた[illegible]

[illegible]に飛び來たる[illegible]わが荒鷲の空中戦、十四日間一食も口にせず[illegible]つづけた苦心談、スリルあり、感激あり、[illegible]へて[illegible]いたく感激させ午後一時散會した隊員一同は同日午後三時二十分の下り列車にて高雄驛でそれぞれ懐しのわが家へと歸途についた

陸、海、空、に續いて三人
而も同じ職場から
光榮、本島同胞も撃滅戰に

と志願何れも見事合格の榮譽を擔ったといふこれは決戰下[illegible]しいニュースとして地方民を[illegible]はせてゐる[illegible]その一人[illegible]に合格した[illegible]君(二)は[illegible]を卒へると同時に同組合に入り[illegible]志願兵制が施行されるや直ちに志願見事合格し[illegible]の訓練を終へて目下〇〇に入隊[illegible]して只今[illegible]の途中であるが、また[illegible]君(二)は大甲[illegible]

で幼い時から海に[illegible]する[illegible]りその[illegible]を[illegible]ってゐたところ[illegible]志願兵制が[illegible]されるやいの一番に志願してこれまた目出度く合格[illegible]した、また[illegible]少年航空兵として[illegible]を[illegible]めた[illegible]君(二)は[illegible]を卒へると同時に同組合[illegible]として採用され日々の新聞やラジオのニュースに[illegible]空の決戦場へと決意を[illegible]したので合格の通知を受けるや「これで[illegible]」

【臺中】敵の[illegible]たらんと既に海に空に若人たちは忠君愛國の熱血をたぎらせ[illegible]此度臺中州大甲郡[illegible]組合から[illegible]三君が[illegible]たらん

是非も一度前線に
兩勇士元氣一杯語る

【高雄電話】分隊長で活躍した[illegible]出身の大谷[illegible]夫君に[illegible]を聞けば元氣一ぱいで語る

何も手柄らしい[illegible]もいたしませんでしたことは甚だ残念に思ひますこれから再度の[illegible]に志願しそれが[illegible]たら[illegible]て是非とも一度前線に出て働く覺悟であります、村に歸へりましたらいささかでも[illegible]の指導にあたるつもりであります

また[illegible]出身の分隊長[illegible]一郎君は語る

戰地へ征って[illegible]心を打たれたことは友軍が[illegible]のためから水火も辭せず喜んで死地に飛び込む事です、ここにたくひなき皇軍の[illegible]があります、[illegible]のため[illegible]で下さる前線將兵の苦労を[illegible]時でも安閑として居られず自分たちの[illegible]によって米英を[illegible]覺悟です、臺北で[illegible]と思ふと嬉しくてなりません自分たちもこれから一生懸命勉強し十分[illegible]に立ちたいと思ひます

譽の家を訪れて
（完）

親子揃って功競ふ
而も留守部隊は皆健在

【花蓮港】父が日露戰爭に金鵄勲章を[illegible]ければ子も孫も父祖に續いで大東亞戰に武勲を競ふと云ふ決戰下に咲く軍國家庭、玉里郡玉里街[illegible]〇年[illegible]三郎氏(七)は[illegible]功七の金鵄に輝く日露戰爭の[illegible]勇士で、妻キジユさん(六)と十一人の子寶を持つ實に明朗活潑の人で長男四郎君は父に相續いで大東亞戰に参加し[illegible]を[illegible]った[illegible]軍曹で目下〇〇兵[illegible]に勤務し、次男五郎君も〇〇方面に活躍、[illegible]も父[illegible]として黒潮躍る太平洋上に、[illegible]君は[illegible]に、[illegible]君は[illegible]と戰報の如く大東亞戰に[illegible]した、[illegible]二人、[illegible]三人を前線に送ったと云ふ時代こそ[illegible]も子も[illegible]の[illegible]となった軍國の家、又留守宅には花蓮港工[illegible]三年生の[illegible]君(一)[illegible]の[illegible]君(一)[illegible]一年生のスエ子さん(九)の五人の子供さんと[illegible]を一日千秋の思ひで待ってゐる[illegible]中川一[illegible]君や[illegible]さん達の[illegible]がすくすくと育って明日の防人に立つ[illegible]しい一家だ、[illegible]さんは

父の金鵄が何んだと云って征く子供や婿達にはやくやくすると負けます、家に居る[illegible]も六郎も空の荒鷲になると張切ってゐるし私も思ひなほして[illegible]してゐるこの[illegible]を止めて決戰下に相應しい生産[illegible]に轉向しようと思ってゐます

と親子競ってどっちも負けじとばかりの[illegible]を示してゐた【寫眞は中さん一家】

學窓より學鷲へ
潮州街 大本氏宅に吉報

【潮州】一機でも多く、一人でも[illegible]と張り立つ"鷲"への熱心は國土の空を[illegible]ゆるが如き決意は[illegible]決戰場に羽搏く秋になった潮州郡初の[illegible]生大本[illegible]之助君(一)は航空決戰の大空へ翔け上る[illegible]らんといの一番に志願し見事第一次檢査に合格、其の吉報は直ちに[illegible]潮州郡[illegible]大本文吉氏の許に飛んだ、[illegible]と榮光に包まれたが第二次の[illegible]等に渉る嚴重な[illegible]如何かと案じつつ一家を擧げて[illegible]にも感ぜられた時、一日第二[illegible]突破の[illegible]が[illegible]され[illegible]君は[illegible]北一中を[illegible]

[illegible]

徴兵制に山の感激
日本男兒の征く所
すべてに溢れる決戰調

【角板山にて[illegible]】[illegible]

[illegible]

各社

[illegible]

子供

[illegible]

憧れの入所
海軍兵志願者訓練所正門を入る訓練生【高雄警備府檢閲濟】

國内體制强化に對應
官廳執務愈々決戰調

【臺中電話】[illegible]

臺中州
[illegible]

記

一、土曜日の執務は[illegible]

二、午後五時（四時）より[illegible]

臺中一中、安澤叡次君

【北斗】[illegible]

斗六稅務出張所開廳一周年

【斗六】[illegible]

臺東廳協議會員更新

【臺東】[illegible]

續け少年大空へ！
高雄商工專修校より四名

【高雄電話】空の決戰場へ我れも[illegible]かんと若き學徒の血を漲らせ[illegible]今回[illegible]大空への進軍譜が[illegible]來でられてゐる秋高雄商工專修[illegible]校からも四名合格と[illegible]び込んだので同校では[illegible]並に[illegible]一同整列して壯行會を擧行し四君の晴れの門出を[illegible]中校長代理の[illegible]の辞に[illegible]就いた因みに合格者は左の通り

五三、川野部夫君（二〇）高雄市[illegible]

[illegible]、井川[illegible]君（二〇）同市[illegible]

四ノ一、山崎[illegible]君（二〇）[illegible]

[illegible]一組合中から三名も合格したのは組合としても名譽これに過ぐるものはないと喜んで[illegible]ゐます三人とも實に立派な若者で[illegible]の役員で[illegible]組合でも大いに[illegible]してゐましたが[illegible]軍人として[illegible]しこんな嬉しいことはありません【寫眞は右から[illegible]】

五十君「陸志」訓練所長南下

【臺中電話】五十[illegible]日午前九時二十[illegible]分下り列車にて南下した

空から米英撃滅
北投街から四君、壯行會催す

北投街では今回[illegible]少年飛行兵[illegible]に四名の合格[illegible]したので[illegible]

いざ無敵海軍へ！
早くも願書 然も航空兵希望

【花蓮港電話】人生廿年の人生[illegible]と一日より[illegible]された海軍志願兵[illegible]

山岸廳長出府

【臺東電話】[illegible]

轉廢業者對策に
臺南州職業補導所新設

【臺南電話】[illegible]

臺中州地方馬檢査日程

[illegible]

八日午前八時　大甲郡

九日午前十時　[illegible]

十日[illegible]

十一日午前八時　[illegible]

十二日午後一時　[illegible]

十三日午前八時　北斗郡

羅東郡商工業聯合會結成

【羅東】[illegible]

蠅、油虫撲滅に凱歌
一ケ月間に二百四十萬匹

【花蓮港電話】[illegible]

水田裏作に亞麻
臺中州 奬勵面積九千甲歩

【臺中電話】[illegible]

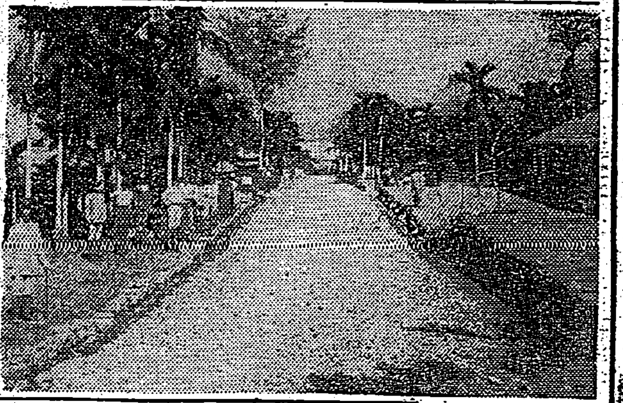
市街常會申合

【屏東市支會】[illegible]

【斗六街】[illegible]

十日臺中市青少年團査閲

[illegible]



健民花蓮港廳建設へ

【花蓮港】[illegible]

赤誠の獻金品

海軍武官府
國防獻金

[illegible]

軍司令部
國防獻金

[illegible]

彰化市支會
[illegible]

ラヂオ

第一放送

[illegible]

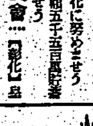
第二放送

[illegible]

椰子
(79)

梅野十三作

村上松次郎繪



造兒 (二)

[illegible]

[illegible]

改造　十月號　[illegible]

バトリオ背反の眞相　[illegible]

伊太利、ムッソリーニ　山本實彦

戰略的攻勢への躍進　[illegible]

[illegible]

科學技術と文學　[illegible]

辨證法批判　[illegible]